

6. 本時のねらい

2つのかさを比較する方法として 直接比較や間接比較、任意単位による比較などを考えて操作し、根拠をはっきりさせて、2つの入れ物のかさの大小を判定することができる。

7. 本時の展開

過程	ねらい	学 習 活 動	支 援	・ 評価
<p>つかむ</p> <p>ふかめ</p> <p>る</p> <p>まとめ</p>	<p>本時は水のかさについての学習をしていくことをつかむ</p> <p>どんな比べ方があるかを自分なりに考え、見通しをもつ</p> <p>いろいろ出た比べ方の中から、課題を解決するのにふさわしい方法を考える。</p> <p>他の人に分かるように、比べ方とその結果、そしてその結果から得られる結論を話すことができる。</p>	<p>1. 問題を提示する。</p> <div data-bbox="570 369 1665 479" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2つのバケツがあります。水がたくさん入るバケツを買いたいのですが、どちらのバケツを買えばいいでしょうか。</p> </div> <p>どちらがたくさん入りそうか予想をたてる。</p> <p>2. 課題を提示する。</p> <div data-bbox="570 633 1391 724" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>どちらがたくさん入るか 比べる方法を考えよう</p> </div> <p>3. 個々に比べ方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Aのバケツの水をBに移しかえる。</li> <li>・ 別の水そうに入れてみる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>1つの水そうに入れる。</li> <li>同じ大きさの2つの水そうに入れる。</li> </ul> </li> <li>・ (コップ)何杯分 <ul style="list-style-type: none"> <li>くんで入れる。</li> <li>くみ出す。</li> </ul> </li> <li>・ どちらが重いか。</li> <li>・ ジャ口をひねって何秒でたまるか。</li> </ul> <p>4. グループ毎に どの比べ方でやるかを決定する。(どのやり方からやるか順番を決める。)</p> <p>5. AとBのバケツしか使わないやり方で比べ、発表する。</p> <p>6. AとBのバケツのほかに道具を使うやり方で比べる。</p> <p>7. グループ毎に 調べた結果をまとめ発表できるようにする。</p> <p>8. グループ毎に発表し、交流する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="543 1354 911 1750" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・ 間接比較</p> <p>別の大きい入れ物に入れ直す</p> <p>↓</p> <p>同じ大きさの入れ物に入れたから深いほうがたくさん入る</p> <p>↓</p> <p>目で見て違いが分かる。</p> </div> <div data-bbox="954 1354 1339 1760" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・ 任意単位による比較</p> <p>コップ何杯分で数える</p> <p>↓</p> <p>同じコップで数えたから数の多い方がたくさん入る</p> <p>↓</p> <p>数値で表せる</p> <p>比較する物が動かせない時便利</p> </div> </div> <div data-bbox="1374 1058 1695 1464" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・ 直接比較</p> <p>↓</p> <p>Aの水をBに入れたらあふれた。</p> <p>↓</p> <p>BからあふれたからAの方がたくさん入る。</p> <p>↓</p> <p>簡単に比べられる。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それぞれの台の上に空のバケツ2つを置いておく。中央の台のバケツにだけは水を入れておく。</li> <li>・ 予想をたてることで意欲づけをする。</li> <li>・ 見た目ではなく、実際に比べて判断することの大切さをおさえる。</li> <li>・ 教卓やまわりの台の上に、水槽や入れ物(任意単位による比較で使いやすい物)を準備しておく。</li> <li>・ 正しく比べられる方法かどうかを話し合っ決定していくことを知らせる。</li> <li>・ 正確さ、平等さに気をつけてやっているかチェックし、声かけをする。</li> <li>・ できるだけの子にも一つは活躍の場があるように(話す、操作する等)役割分担するようにする。</li> </ul>	<p>いろいろな比べ方の中から、きちんと大小の判定のできる比べ方を選んでいるかどうか評価する。</p> <p>・ 友だちの発表(直接比較)を聞いて感じたことが表現できる。</p> <p>自分たちがやった比べ方とその結果、そしてその結果から得られる結論を分かりやすく表現できたかどうか評価する。</p>